

短期予報解説資料 2025年10月11日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 台風第23号が奄美大島の南東を、ゆっくり北北東進。台風近傍では非常に激しい雨を解析し、発雷を多数検知。本州の南の海上には前線がのびており、台風周辺から流れ込む下層暖湿気の影響で、前線近傍では激しい雨を解析し、発雷を多数検知。台風の影響で南西諸島では、15m/s近い風を観測し、うねりを伴いしけている所がある。
- ② 500hPa 5820m付近の正渦度極大域に対応した前線が華中から日本海西部へのびている。
- ③ カムチャツカの東の低気圧を波源とするうねりの影響で、北海道地方では波の高い所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 12日朝までに関東の東の海上で1項①の前線上に低気圧が発生し、13日にかけて日本の東を東北東へ進む。台風は12日にかけて、発達しながら四国の南～東海道沖を東北東進、13日は伊豆諸島付近へ進む。台風の接近で、伊豆諸島では猛烈な風が吹き、大しけとなり、台風から前線に向かう下層暖湿気の影響で、雷を伴い非常に激しい雨の降る所がある。伊豆諸島では13日は、暴風に厳重に警戒し、12～13日は、うねりを伴う高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。東～西日本太平洋側と南西諸島では12日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意し、強風、うねりを伴う高波、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 11日夜までに1項②の前線上に低気圧が発生する。前線と低気圧は、日本海を東に進み、12日夜までに、本州付近で不明瞭化する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨の降る所がある。東北～東日本日本海側を中心に12日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。
- ③ 12日は沿海州付近からオホーツク海へ低気圧が東進し、低気圧付近からのびるシアーラインが北海道付近を通過する。シアーラインに向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる。また、この低気圧と大陸から張り出す高気圧との間で気圧の傾きが向きが急となり、強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなる所がある。北海道地方では12日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に留意し、13日にかけて、強風、うねりを伴う高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間):東北・伊豆諸島・北陸100mm。

② 波浪(明日まで):伊豆諸島6、近畿・四国・九州南部・奄美・沖縄4、その他広い範囲で3m。③ 高潮(明日まで):大潮の時期。西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第23号に関する情報(総合情報)」を17時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。